

キリシタン大名 高山右近の生涯が 私たちに問いかけるもの

講師 川村 信三 (上智大学文学部史学科教授、イエズス会司祭)

400年前に生きた高山右近。その生涯は戦国武将として、キリスト教の信仰者として、他の武将たちには経験されなかったほどの大きな山あり谷ありの人生でした。その右近の生き方に現代注目が集まっています。成功と失敗、勝ち組と負け組などストレスを抱えている現代人にとって、自らの道に忠実に「心を生きた」右近の生涯の出来事は多くの示唆を与えたいと思います。その右近について、従来的人物伝・年表整理とはすこしちがった、その生きた時代と空間を俯瞰的に眺めてみたいと思っています。右近の生涯の必然が浮かびあがると確信しています。

日時 2017年 9月9日(土) 13:30～17:30

会場 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300円、学生1,000円(お茶代込み)

申込締切 9月6日(水)

◎ 電話、FAX(裏面フォーム)、E-mailなどで、お申込ください。

◎スケジュール◎

13:30～15:00 講演・発題

15:00～15:30 お茶の時

15:30～17:20 質疑とはなしあい

17:20～17:30 まとめとアンケート記入



川村 信三 かわむら しんぞう

上智大学文学部史学科教授

1958年 神戸生まれ。関西学院大学で学部・大学院を修了。1983年カトリック修道会、イエズス会入会。その後、上智大学大学院哲学研究科、教皇庁立グレゴリアナ大学(ローマ)、アメリカ合衆国ウェストン神学大学院(マサチューセッツ・ケンブリッジ)を経て、1999年ジョージタウン大学で博士課程修了、歴史学の博士号を取得(Ph.D.)。帰国後、上智大学神学部および文学部史学科の専任を経て、現職。

著書 『キリシタン信徒組織の誕生と変容－「コンフラリヤ」から「こんふらりや」へ』(教文館、2003年)、『戦国宗教社会＝思想史－キリシタンの事例からの考察』(知泉書館、2011年、『キリシタン大名高山右近の生きた時代』(教文館、2016年)など。

2015年NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』のキリスト教考証、2016年公開のマルティン・スコセッシ監督『沈黙』の歴史顧問および日本語監修などを手がける。

2017年度 お茶のこころと宗教のこころー II

「聖書をいっしょに読みましょう」〈8回開催〉

自分探しの聖書。自然に囲まれた静かな環境で、ゆっくりと聖書を読んでみませんか。
主観的に読み、それを分かち合いながら聖書の中に自分を発見してみましょう。

①～④終了 ⑤ 9月 7日 ⑥10月 5日 ⑦ 11月 9日 ⑧12月 7日

⑦第2、他 第1木曜日

座長：榎本 栄次（日本基督教団牧師）



その他プログラムのご案内

主催 関西セミナーハウス活動センター

特記以外会場 関西セミナーハウス

「修学院フォーラム」

「社会」 第1回 10月7日(土)〈宗教と戦争を考える 3〉

「キリスト教はなぜ戦争について容認するようになったのか？」

講師：土井 健司（関西学院大学神学部教授）

第2回 11月11日(土)〈宗教と戦争を考える 4〉

「内村鑑三の戦争観」 講師：岩野 祐介（関西学院大学神学部教授）

第3～5回開催予定

「福祉」 第2回 2018年3月予定 会場 京都YWCA

「子どもの虐待を考える」（仮） 講師：未定

「いのち」 2018年3月4日(日) 「いのちとさんび」（仮） 演奏とお話：菅野 万利子(ピアニスト)

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117(直)

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長 榎本 栄次

担当 都木 かおり

【関西セミナーハウスへのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご予約をお願いします。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2017年度 「お茶の心と宗教のこころ」ー I 参加申込書

(フリガナ) 名前	所属
住所〒 電話 () - FAX () - 携帯 ()	
電子メール:	@
通信欄:	